

平成28年度第5回協議会における意見のまとめ

人間像を実現するために必要となるもの		
	「環境」の視点	
	「資質・能力」の視点	
自立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生きる力（将来の職業や生活を見通して、社会において自立的に生きるために必要とされる力）</li> <li>・ <b>学び方を獲得できる力、吸収力、学び方の学び</b></li> <li>・ <b>自主的に生涯にわたって学び続ける力</b></li> <li>・ <b>自分で生きていく上でどうなりたいかというのを自分で考えながら学んだり判断したりする力</b></li> <li>・ <b>自己マネジメント力、生き方のデザイン、人生の設計</b></li> <li>・ <b>生きがい</b></li> <li>・ <b>目的意識</b></li> <li>・ <b>仲間を集めながら成長し、学んでいく姿</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全・安心な学びや活動の場</li> <li>・学びのセーフティネット</li> <li>・学校の教育力・組織力</li> <li>・ <b>すべての人々が学ぶことができる機会</b></li> </ul> <p>※すべての環境の視点に 「地域全体で支える、地域の力」があったほうがいい 自分の周りにモデルがいること＝自分でデザインできる 地域の大人力であったり、地域に暮らしている身近な人達とうまくお互いが成長していくことができるような環境</p>
共生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人や社会の多様性を尊重し、自ら進んで協働しようとする心</li> <li>・ <b>自分と違うものを受け入れる心</b></li> <li>・ <b>自分と違うものに何かの魅力を感じ、積極的に何かを吸収しようして自ら乗り込んでいく力</b></li> <li>・ <b>違いを感じる心、異質を感じる心（→接することで理解が生まれる）</b></li> <li>・ <b>地域力を引き出す力</b></li> <li>・ <b>共に知恵を集めて他者と協力・協働して問題を解決しようとする態度や行動</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学びの場や活動を生み出すネットワーク</li> <li>・子どもの学びを地域全体で支える仕組み</li> <li>・ <b>相互に学び合える場、共に学び合える場</b></li> <li>・ <b>地域の中で行きやすい場 = 小さなコミュニティ</b></li> <li>・ <b>試行錯誤を含め、議論する場</b></li> </ul>
創造	<ul style="list-style-type: none"> <li>・函館に誇りや愛着をもつ「郷土愛」</li> <li>・ <b>郷土愛が生まれていくプロセス</b></li> <li>・創造の基礎となる感性の涵養 → <b>魅力を発見できる力、</b> <b>函館の魅力の再認識・再発見</b></li> <li>・ <b>問題を発見する力</b></li> <li>・ <b>発信できる力</b></li> <li>・ <b>資源の中から時代に合った新たな価値をブランディングする力</b></li> <li>・ <b>地域の魅力を認識する力</b></li> <li>・ <b>地域の問題を深く捉える力</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未来に向かう学びや活動の場</li> <li>・ <b>自分で説明できるような場（他者に魅力や問題を伝え、広める場）</b></li> <li>・ <b>アイデアや作品を発表できる場</b></li> <li>・ <b>相互的な市民のアイデアや作品、そういった発案を発表・交流できる場</b></li> <li>・ <b>ホストファミリーの経験、歴史・文化、市民の考えなど自分で説明・発表できる場（発信する場）</b></li> <li>・ <b>試行錯誤を含め、議論する場</b></li> </ul>

※太字は平成28年度第5回協議会における委員意見をまとめたものです。細字は事務局提示のものを一部修正し、記載したものです。